

平成26年4月28日
J R 東日本秋田支社

「秋田の魅力！はし渡しキャンペーン」のメッセージのPRについて

秋田銀行（頭取 湊屋隆夫）、秋田魁新報社（代表取締役社長 小笠原直樹）およびJ R 東日本秋田支社（執行役員秋田支社長 浅見郁樹）では、秋田の魅力を県内外に発信し、地域振興に寄与することを目的として、昨年3月15日（金）に連携協力協定を締結しております。

今般、三社では、本協定にもとづき実施した共同事業「秋田の魅力！はし渡しキャンペーン」で応募いただいたメッセージを、秋田新幹線「こまち」の車内および秋田銀行ATMコーナー用現金袋に掲載することで県内外に広くPRいたします。

記

1 秋田新幹線「こまち」車内への掲載

(1) 掲載場所

秋田新幹線「こまち」の12号車 車内広告スペースに掲出いたします。

(2) 掲出開始日

26年5月1日（木）

(3) 掲載イメージ

別紙1のとおり

2 秋田銀行ATMコーナー用現金袋への掲載

(1) 設置場所

県内外の秋田銀行ATMコーナーに設置いたします。

(2) 設置開始時期

26年5月より順次設置いたします。

(3) 掲載イメージ

別紙2のとおり

※ 「秋田の魅力！はし渡しキャンペーン」について

三社連携協力協定の第一弾事業として、平成25年3月16日から31日の期間中、秋田新幹線の上りの全車両に備付けの応募用ハガキに秋田の魅力を全国に発信するメッセージを記入のうえ応募いただき、この結果、全国から1,389通の応募がありました。

応募者の中から抽選で1,000名の方に、スーパーこまちオリジナルの川連漆器の箸をプレゼントするとともに、いただいたメッセージの中から秋田の魅力を強くアピールするものを選び、ポスターを作成し、秋田新幹線の停車駅や首都圏等の駅、当行の県内外営業店、県内観光施設等に掲出しております。

(別紙2)

2 秋田銀行ATMコーナー用現金袋イメージ(封筒の裏面に掲載)

秋田ど、はしわたし。

こまちに乗車の
お客さまからいただいた
一、三八九通の
はし渡しメッセージ。



おいしいものに目がない君に、ハタハタ、きりたんぽ、いぶりがっこ、とんぶり。秋田にはおいしいものが沢山あるんだよ。きれいな花が大好きな君に、角館のしだれ桜、八郎潟のどこまでも続くひまわり、夜空に咲く大輪の菊は大曲の花火。そして、ちょうちんの稲穂の波は、芋畑まつり。夫が案内してくれた秋田は、とてもステキな所でした。今年の夏は、赤い新幹線で、あなたのふるさとへ連れて行ってね。

宮城県 50代 女性

子供の頃、飲んでいた水がここにある。おいしくて、冷たくて、透き通った水。子供の頃の思い出とともに忘れさせていたあの懐かしい水の味だ。本当の水の味だ。六郷の街角で出会う水は優しい感触の水である。水に優しさを感じるなんて何年ぶりなことだろう。そして、湧き水を使って作られたサイダーを飲む。サイダーは湧き水で“程よく”冷やされていて子供の頃の記憶が蘇ってくる。これこそ、まさに至福の体験だ。

埼玉県 50代 男性

秋田銀行、秋田魁新報社、JR東日本 秋田支社は秋田の魅力を県内外に発信し、地域振興に寄与することを目的として、連携協力協定を締結いたしました。事業の第一弾として「秋田の魅力!はし渡し」キャンペーンを実施いたしました。

www.jreast.co.jp/akita/topics/hashiwatashi/

秋田の魅力!はし渡し

秋田銀行 秋田魁新報社 JR東日本 秋田支社